

「海の研究」投稿規定

1. 「海の研究」は、海洋学とその関連分野の研究成果を発表する日本海洋学会の和文学術雑誌であり、原則として年6回発行される。
2. 投稿論文は、原著論文、速報、総説、賞記念論文とし、他の学術誌に未発表かつ発表予定のないもの、または投稿中でないものに限る。投稿は無料である。投稿された論文の採否は、査読を経て編集委員会が決定する。本誌に掲載された原著論文、速報、総説、賞記念論文の著作権は日本海洋学会に帰属する。

原著論文は、海洋学に関する価値ある結論・知見を含む研究成果や、新しい研究手法を、長短にかかわらず、まとめた論文である。

速報は、原則として、図表を含めて4ページ(8,000字)以内で、原著論文の内容となりうる情報を含む研究成果や、新しい研究手法の開発結果などを出来るだけ早急に公表するための論文である。

総説は、ある主題に関する多くの研究成果を取りまとめたもの、研究史、研究の現状、将来への展望、論説などである。

賞記念論文は、学会賞・岡田賞を受賞された会員に日本海洋学会から執筆を依頼する論文である。
3. 編集委員長の許諾がある場合をのぞき、筆頭著者は本会会員に限る。共著者は、以下のすべての条件をみたす者に限る。
 - 1) 構想およびデザイン、データ取得、データ分析および解釈において相応の貢献がある者。
 - 2) 論文作成または重要な知的内容に関わる批判的査読に対応した者。
 - 3) 出版原稿の最終承認を行った者。
4. 論文投稿に際しては、原稿および図表のpdf (Portable Document Format) ファイルを編集委員長に送付する。
5. 執筆要領(「投稿の手引き」参照)
 - 1) 原稿はワープロソフト(原則としてMicrosoft Word)を使用し、A4版の白紙に40字×25行程度になるように作成する。
 - 2) 原著論文、速報、総説、賞記念論文のはじめには、題名、著者名、所属機関名を記す。また、それぞれの英訳をつける。図、表には英文の説明をつける。
 - 3) 原著論文、速報、総説、賞記念論文には、英文要旨、和文要旨、キーワードをつける。
 - 4) 図、表、写真は原則として、EPS (Encapsulated PostScript) で作成し、投稿段階ではpdfで編集委員長に送付するが、原稿受理後は図表番号ごとに別々のEPSファイルを作成して編集委員長に送付する。図、表の横幅は75 mm、または150 mmとして投稿することが望ましい。
 - 5) 数式は上下に1行ずつ空けて明瞭に書く。
 - 6) 脚注は用いない。
 - 7) 引用文献は、本文中では「Richards(1996)によれば」、「深海(2000)によれば」、あるいは「(Richards, 1995; Richards and Broenkow, 1971)」, 「(深海, 2000; 深海・浅海, 2002)」のように引用する。著者が3人以上の文献は、「(Cox *et al.*, 1970)」, 「(深海ら, 2000)」のようにする。引用文献は、最初の著者の姓のアルファベット順に並べ、次の例にしたがって、原稿末尾にまとめて記載する。

論文

宇田道隆(1966): 海況の総観的研究. 日本海洋学会誌, 22, 231-235.

Cox, R. A., M. J. McCartney, and F. Culkin(1970): The specific gravity /salinity/temperature relationship in natural sea water. *Deep-Sea Res.*, 17, 679-689.

単行本

Sverdrup, H. U., M. W. Johnson, and R. H. Flemming (1942): *The Oceans: Their Physics, Chemistry, and General Biology*. Prentice-Hall, Englewood Cliffs, N. J., 1,087 pp.

単行本の章

Richards, F. A. (1965): Chapter 6, Dissolved gases other than carbon dioxide, p. 197-225. In *Chemical Oceanography*, Vol. 1, edited by J. P. Riley and G. Skirrow, Academic Press, London and New York.

海の研究 (Oceanography in Japan)

6. 投稿論文が受理された時は、下記の2点を編集委員長に提出する。
 - 1) 最終原稿のMicrosoft Wordファイル
 - 2) 図表のEPSファイル(図表番号ごとに別々のEPSファイルを作成したもの)とそれらの説明(英文)

7. 原著論文, 速報, 総説, 賞記念論文の別刷は有料とし, 原稿受理後に著者が直接印刷会社に申し込む。

(2018年1月)